

登録コード	E4350900	開講年度	2026				
授業科目	初等音楽科指導法基礎A					担当教員	齊藤 忠彦
英文授業名	Music Teaching Methods in Primary School					副担当	
単位数	2	講義期間	前期	曜日・時限	火曜・2時限	対象学生	3～4年生
講義室	教育N301講義室		授業形態	講義	遠隔授業科目	備考	
信大コンピテンシー 非該当							
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】		
	26Eカリ, 25Eカリ, 24Eカリ, 23Eカリ, 22Eカリ, 21Eカリ, 20Eカリ						
	教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観				小学校の音楽教育に携わる上で必要とされる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観を高めることができるようになる。		
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能				小学校音楽科の理念, 目標, 内容, 方法, 評価などの基礎的な事項を理解し, 音楽科授業を展開する上で必要となる実践的指導力を向上させることができるようになる。		
(2)授業で学べる「テーマ」	芸術文化						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	理論的な内容については講義を中心とするが, 実践的な内容として, 小学校音楽科の学習指導案を作成したり(模擬授業イメージを含む), 音楽実技を取り入れたりする。担当教員の学校教育現場における実務経験を活かし講義を行う。						
(5)授業計画	第1回: ガイダンス, 音楽科の授業とは 第2回: 音楽科の存在意義, 学校音楽教育の歴史 第3回: 楽典・伴奏法の基礎 第4回: 小学校学習指導要領<音楽>, 評価について 第5回: 音楽科学習指導案について 第6回: 音楽科学習指導案の作成(実践) 第7回: 歌唱指導法のポイントと実践 第8回: 器楽指導法のポイントと実践 第9回: 音楽づくり指導法のポイントと実践 第10回: 鑑賞指導法のポイントと実践 第11回: 音楽科におけるICT活用, 指揮法の基礎 第12回: 音楽科の今日的な課題 第13回: 音楽実技試験 第14回: 授業のまとめ及び筆記試験, 授業アンケート実施						
(6)成績評価の方法	小学校音楽科の基本的事項に関わる筆記試験が40%(), 学習指導案の作成が20%(), 実技試験が30%(), 提出物および授業への参加状況を10%()とし評価する。 ・得点率による評価基準は次のとおりとする。 90%以上 秀, 89-80% 優, 79-70% 良, 69-60% 可, 59%以下 不可。						
(7)成績評価の基準	(4)の の知識および , の表現力に関わる評価が極めて高くかつ が極めて高い評価だった場合は「卓越している」, の知識および , の表現力に関わる評価が高くかつ が高い評価であった場合は「かなり上にある」, の知識および , の表現力に関わる評価が一定水準以上かつ の評価が標準的であった場合は「やや上にある」, の知識および , の表現力に関わる評価が水準にありかつ について標準的であった場合には「標準にある」と評価する。						
(8)事前事後学習の内容	音楽実技試験に向けて, 早い段階から個人練習をすすめておかなければならない。授業で扱った内容について, 筆記試験にて評価するため, 毎回の復習が重要である。 この授業は90時間の学修を必要とする内容である。従って, 60時間以上の時間外学習が必要となる。						
(9)履修上の注意	音楽実技は初心者でも演奏可能なレベルの課題であるが, 試験にて合格ラインに達するように, 授業時間外に十分に個人練習をすすめておく必要がある。						
(10)質問, 相談への対応及び連絡先	オフィスアワー: 研究室在室時は常時対応可 (N410) 研究室電話: 026-238-4133 メールアドレス: saitota@shinshu-u.ac.jp						
【教科書】	本多佐保美・中嶋俊夫・齊藤忠彦・桐原礼(編), 『新版小学校音楽科教育法』, 教育出版社, 2018年, 2,400円						
【参考文献】	適宜紹介						